

平成26年9月17日
記者発表

地方公共団体管理の老朽橋梁に 「道路メンテナンス技術集団」を派遣します ～全国3橋梁で直轄診断を試行～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

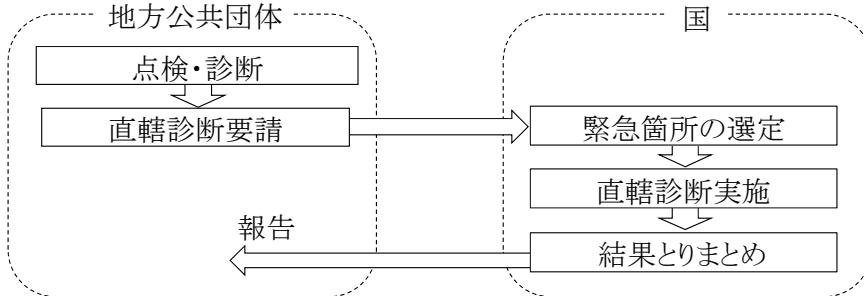
そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い下記の3橋梁について直轄診断※を試行的に実施することとしたので、お知らせ致します。

橋梁名	市町村名	直轄診断実施主体
みしまおおはし 三島大橋	みしままち 三島町（福島県）	東北地方整備局
おおまえはし 大前橋	つまごいむら 嬬恋村（群馬県）	関東地方整備局
おおどだむおおはし 大渡ダム大橋	にょどがわちょう 仁淀川町（高知県）	四国地方整備局

- 各橋梁の内容については、別添をご覧下さい。
- 現地作業の実施日については、後日、各地方整備局より発表させていただきます。

※直轄診断：「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

【全体の流れ】



【資料】 別添：今年度実施箇所

＜問い合わせ先＞

道路局 国道・防災課 道路保全企画室 企画専門官 田中 倫英
代表 03-5253-8111（内線 37813）直通 03-5253-8494 FAX 03-5253-1620

※本記者発表資料については、国土交通省ホームページ（アドレス：<http://www.mlit.go.jp>）にも掲載しています。

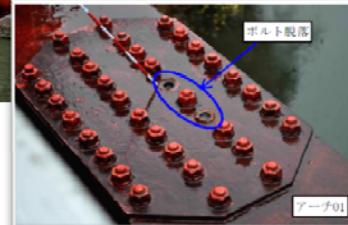
【別添】直轄診断実施箇所

県名	町村名	路線名	橋梁名	建設年	延長(m)	緊急性・高度な技術力の必要性 (町村での点検結果より)
福島県	みしままち 三島町	町道 みやしたないり 宮下名入線	みしまおおはし 三島大橋	昭和50年	131	大規模アーチ橋で多数のボルト破壊が進行しておる、早急に全てのボルト交換が必要
群馬県	つまごいむら 嬬恋村	村道 おおまえほそばら 大前細原線	おおまえはし 大前橋	昭和33年	73	建設後50年以上が経過した施工方法等の詳細が不明なコンクリート橋であり、主桁等に大きな損傷が見られる
高知県	によどがわちょう 仁淀川町	町道 によどあがわ 仁淀吾川線	おおど おおはし 大渡ダム大橋	昭和58年	444	高度な専門技術が求められる吊り橋で、健全性に大きな影響をもつ主桁接合部などで損傷が散見

三島大橋



ボルトの脱落



大前橋



主桁・橋脚の損傷



大渡ダム大橋



主桁の腐食



「道路の老朽化対策」パネル広報展示会の開催について

富山県

1. 開催主旨

道路施設の現状や老朽化対策の必要性について、広く一般市民にご理解していただくことを目的に、道の駅、市役所ロビー等で広報パネルの展示会を開催しました。

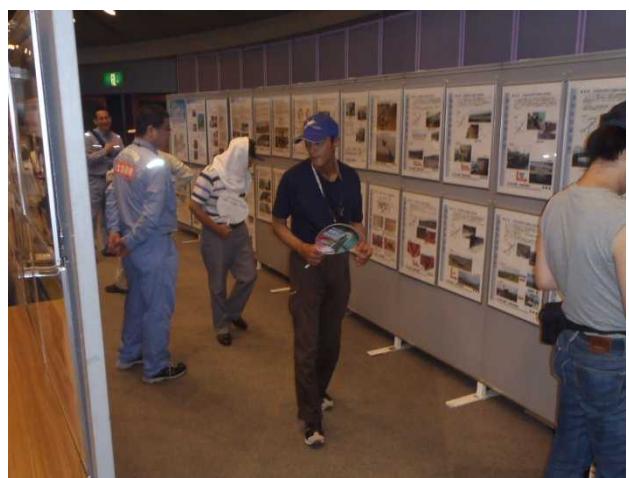
2. 開催状況



富山市役所 (H26. 6. 16~30)



「道の駅」細入 (H26. 7. 19)

富山ステーションフロントCiC
(H26. 8. 7~15)

クロスランドおやべ (H26. 8. 23, 24)

開催日、予定	展示会場	住所	イベント等
6月16~30日	富山市役所	富山県富山市	—
7月19日	「道の駅」細入	富山県富山市	らつきょう体験掘りフェア
8月7~15日	富山ステーションフロントCiC	富山県富山市	道路ふれあい月間パネル展
8月23、24日	クロスランドおやべ	富山県小矢部市	ヘリコプター&防災・防犯フェスティバル
9月1~24日	「道の駅」メルヘンおやべ	富山県小矢部市	—
10月6~24日	「道の駅」万葉の里 高岡	富山県高岡市	—

道路メンテナンス総力戦

展示パネルの例

- ▶ 高度経済成長期に集中的に整備された社会資本ストックが今や高齢化し、道路インフラの一部で損傷が顕在化してきています。老朽化対策は、喫緊の課題です。
- ▶ 去る4月14日、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会は、『最後の警告』として、一刻も早い本格的なメンテナンス体制の構築を求める提言を、国土交通大臣へ手交しました。
- ▶ その提言の一部と、全国で実施されているメンテナンス活動をパネルでご紹介致します。ご理解の一助になれば幸いです。どうぞご覧下さい。



国土交通省 北陸地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Hokuriku Regional Development Bureau

道 路 部

橋梁点検現場体験会

～富山県立大学 環境工学科の学生～

資料4-3

1. 開催主旨

老朽化対策の取り組みの一環として、将来の道路メンテナンスを担う土木系の学生を対象に、老朽化の現状や橋梁点検の実体験を通じて老朽化対策の理解を深めてもらうことを目的に実施。

2. 開催概要

- 日 時 : 平成26年7月7日(月) 14:00~15:30
- 場 所 : 国道8号 金泉寺高架橋 (富山市内)
- 参加者 : 富山県立大学 環境工学科の学生(21名)と引率教諭(2名)
- 実施内容

- 高所作業車による点検の実習
 - ・近接目視による点検のポイント
 - ・点検ハンマーによる打音調査

- 損傷状況と補修方法の学習
 - ・断面修復工、ひび割れ注入工
- 道路橋の耐震補強
 - ・鉄筋コンクリート巻立、落橋防止対策



参加した富山県立大学 環境工学科の学生21名



近接目視点検のポイントを教わる学生



橋梁点検車に載り、近接目視点検を実施



点検ハンマーによる打音調査を行っている状況